



## 未来への展望～国の動向の中から～

校長 麻生 俊一

「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」報告を受け設置された、「特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議」からの報告を踏まえ、令和4年3月に文部科学省から通知がありました。

そこでは、「Ⅳ 教師の専門性の向上のための具体的方向性」において、「全ての教師に対し特別支援教育の知見や経験を蓄積するための組織的対応」として、「任命権者及び校長は、全ての新規採用教員がおおむね10年目までの期間内において、特別支援学級の教師や、特別支援学校の教師を複数年経験することとなる状態を目指し、人事上の措置を講ずるよう努めること。合わせて、採用から10年以上経過した教師についても、特別支援教育に関する経験を組み込むよう努めること。」とされています。

とても画期的で革新的だと感じました。

このことにより、近い将来、小中高等学校の教師は、誰もが採用から早いうちに特別支援学級や特別支援学校の教師を経験することになります。

実現すると、特別支援教育は、「特別」ではなくなるのではないかと期待します。

こんなことを思いながら、今年度もコロナ下ではありますが、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様、関係諸機関の皆様の力添えをいただきながら頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

## 好学舎分校より

教頭 竹田 敬道

好学舎分校が開校し5年目となりました。今年度は1名の児童生徒が転入し、現在、小学部11名、中学部10名で、計21名が学んでいます。

分校には、隣接する児童心理治療施設「好学舎」に入所している児童生徒が通学しています。施設では決まった日課で生活をし、心理面接やスキル獲得のプログラム等が実施されています。学校では、通常の小・中学校と同じ内容の学習に取り組みますが、本人のペースを大切に授業を実施しています。

これまで、学校生活や家庭生活で困難さを感じていた児童生徒に対して施設と学校が連携し、適切な指導及び必要な支援を心掛けることで、学校での学習や施設での生活に意欲や自信をもって取り組み、充実した日々の生活が送れるようになってきました。

## コロナ禍の学校行事

企画・広報部長 立部 誠也

企画・広報部では、学校行事（体育祭、まつら祭）の立案と運営、児童生徒会活動、理解啓発・広報活動を担当しています。

今年度も新型コロナウイルスの感染・拡大の影響は続いていますが、5月の体育祭は保護者の方が参観される中、無事終わることができました。現在、まつら祭(学校祭)に向けて準備を進めていますが、昨年度の反省を生かして、皆の心に残る行事にしたいと思っています。また、児童生徒会では今年度、「校内美化活動」と「あいさつ運動」を、感染対策をとりながら実施したいと考えています。

コロナ禍3年目の活動に昨年度の実績を参考にし、知恵を出し合い取り組んでいきたいと思っています。

## 9月～3月の主な行事予定

9月 1日	始業式
9月 7日	高等部修学旅行(～9/9)
9月14日	中学部修学旅行(～9/16)
9月29日	小学部修学旅行(～9/30)
10月 6日	中高Ⅲ課程修学旅行(～10/7)
10月22日	第22回まつら祭
11月 2日	原子力防災訓練及び保護者引き渡し訓練
11月 7日	高等部就業・施設体験(～12/2)
	中学部就業・施設体験(～11/25)

12月12日	寄宿舎冬まつり
12月16日	駅伝大会(高等部)
12月24日	終業式
1月10日	始業式
2月18日	保護者授業参観
	からとく夢いちば(中高)
3月11日	卒業式
3月24日	修了式



## 小学部

「毎日が体育祭！」

今年の種目は「キャッチだポン!」「カレーライスをつくろう!」でした。単元期間中は、種目の道具も子どもたちが力を合わせて制作し、おいしそうなカレーライスができました。運動場や体育館での活動にも毎日精いっぱい取り組みました。当日は3年ぶりにご家族のみなさんと一緒に競技ができ、笑顔がより一層輝いていました!



## 中学部

「一致団結 2022 からリンピック」

体育祭単元では、競技で使用するパネルやくす玉などを自分たちで制作したり、種目練習に取り組んだりしました。今年は全校での練習ができただけでなく、当日には保護者の方の前で練習した成果を披露することができ、子どもたちは充実感に満ち溢れていました。



「からとく夢いちば in 校内」

5月中旬から取り組んだ作業学習の一区切りとして、6月22日に校内での販売学習を行いました。3年ぶりに外部のお客様を迎えての販売会となり、子どもたちのお客様を呼び込む声にも力がこもっていました。



## 高等部

「前期就業・施設体験」

高等部3年生とアクティブコース2年生の20名が6月7日～6月17日の期間、就業・施設体験に挑戦しました。初めての体験先、前回体験した場所での体験とそれぞれ違いましたが、周りの方の支援を受けながら、2週間の体験をやり遂げることができました。6月28日の報告会では、一人一人体験の成果と今後の課題について堂々と発表することができ、頼もしく感じました。

「からとく夢いちば」

日ごろの作業学習の成果を発表する場として、毎学期、「からとく夢いちば」(販売会)を行っています。今回は、6月22日(水)に校内と校外(なかよし村北波多店)で行いました。校外販売は、3年ぶりになり生徒も教師も少し緊張ぎみでしたが、精いっぱい頑張りました。後日、地域の方から、販売会でプレゼントした「押し花」に対する感謝のお電話をいただきました。これからも販売会が地域の方にも喜んでいただけるものになりたいです。



## 寄宿舎

「女子棟活動」

6月1日(水)女子棟の棟活動を行いました。今回は子どもたちの希望で「新入舎生の歓迎会を兼ねたカラオケ大会」に決まりました。それぞれ好きなジュースで乾杯!得意な歌やダンスでみんな盛り上がりました。会が終わっても「歌ってみたい!」とリクエストして歌ってくれる子どもも数人いたほど、楽しめたようです。

「男子棟活動」

6月20日(月)にフットベースボール大会を実施しました。2チームに分かれて試合を行い、途中から雨が降り出し、試合は引き分けに終わりましたが、白熱した試合展開が見られました。準備運動やルール説明など、子どもたち自身で行ってくれ、とても良い棟活動になりました。



## 支援部

支援部では、教育相談窓口、福祉サービス事業所との連絡、地域学校等への巡回相談などを行っています。

- ◎スクールカウンセラーと話してみたい
  - ◎新しい福祉サービス事業所を見学したい
  - ◎特別支援教育について相談したい
- などありましたら、支援部などにご相談ください。

まずはお電話ください。  
唐津特別支援学校  
TEL 0955-78-2394  
特別支援教育コーディネーター

